

令和6年度
冬季企画展

2025.2/8.sat-3/23.sun

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(2月24日は開館)、2月25日

入館料：大人310円(250円)/学生200円(160円)/小中学生100円(80円)

※()内は20名以上の団体料金、南丹市在住または在校の小・中学生は入館無料

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方は別途割引料金となります(手帳をご提示ください)

[ミュージアムトーク] ※詳しくは裏面をご覧ください

令和7年2月15日(土) 13:30～14:30

令和7年3月16日(日) 13:30～14:30

冬
字
隆
左
衛
門
gonzaemon

丹波志
と
隆左衛門



南丹市立文化博物館

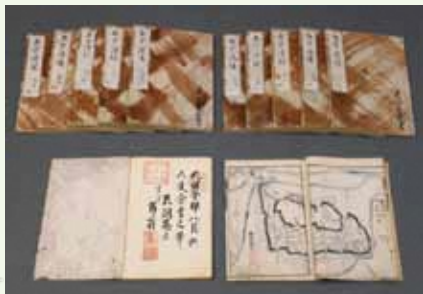
野々村・棚野・知井全図[部分](南丹市蔵)

文字権左衛門と丹波

MONTEZUMA



丹波国絵図 (南丹市蔵)



桑下漫録 (個人蔵: 亀岡市文化資料館寄託)



大瀬波記 (福知山市蔵)

文字権左衛門 (1717-1788) は、丹波国桑田郡岩江戸村 (南丹市美山町三埜) に住し、同村の庄屋役をつとめた人物です。権左衛門の事績として特筆すべきことは、庄屋役を退役後、篠山藩士の永戸貞著と福知山藩士の古川茂正らが編纂を進めていた地誌『丹波志』の資料調査に協力していたことです。権左衛門は永戸氏と書状で連絡を取りながら、明和7年 (1770) から安永7年 (1778) にかけて、桑田・船井・何鹿郡の地域を精力的に調査しており、それにもなつて作成された文書



大般若経 (岩江戸区蔵)



鱧口 (蓮乗寺蔵)

をはじめ、「山」の漢字を用いて山地を表現する独特な筆致の絵図が残ります。

権左衛門が残した文書や絵図については、これまでも『美山町誌』や当館の展示会などで一部が紹介されてきましたが、本展ではこれらに加えて未公開のものを展示します。『丹波志』の編纂のようすや権左衛門がどのように調査を行っていたのかをご覧になり、知られざる郷土の偉人や南丹地域の歴史と文化にふれていただく機会となれば幸いです。



丹波志 (京都府立京都市・歴史館蔵 ※京の記憶アーカイブより)



丹波州福知山伝記 (京都府立京都市・歴史館蔵)



一紙一字経 (蓮乗寺蔵)



六部分記 (南丹市蔵)



笹山御家中永戸半兵衛様より相渡り候尋書 (南丹市蔵)

関連イベント

「ミュージアムトーク」

担当学芸員による展示説明会

○令和7年2月15日 (土)

13:30 ~ 14:30

○令和7年3月16日 (日)

13:30 ~ 14:30

【会場】南丹市立文化博物館

【参加費】無料 (要入館料)

アクセス

◆自動車…京都縦貫自動車道「園部IC」八木西ICより約5分。園部公園駐車場をご利用ください。

◆公共交通…JR園部駅下車、駅西口より京阪京都交通バス「八田線」もしくは「園篠線」に乗り、「交流会館前」下車すぐ。または市営ぐるりんバスで「図書館前」下車すぐ。

